

Library

町生涯学習センター図書室からの4月のおすすめ図書

Library Information

図書室からのお知らせ

■0歳児からのおはなし会について

図書室では、毎月第2木曜日に「0歳児からのおはなし会」を行っています。絵本の読み聞かせや、手袋人形、わらべうたなど楽しい内容です。

子育て中の保護者のみなさん、おじいちゃん、おばあちゃんも、子どもたちとお気軽に参加ください。

■日時 4月11日(木)

午前10時30分～

■会場 図書室おはなしのへや

「ひと」と「ひと」が繋がることの温かさ 小野寺 史宜著 / 『ひと』



祥伝社

小説

両親を亡くし、大学をやめた20歳の秋。仕事を探さなければと思いつつ、動き出せずにいたある日、商店街の総菜屋で、最後に残った1個50円のコロケを見知らぬお婆さんに譲った。それが運命を変えとも知らずに…。『ひと』と『ひと』が繋がることの温かさ、誠実に生きることの尊さを思わせてくれるおすすめの1冊です。

ボブ・ディランの名曲と絵本の新しい出会い ボブ・ディラン作 アーサー・ビナード訳 / 『はじまりの日』



岩崎書店

児童書

「毎日がきみのはじまりの日。きょうもあしたも、あたらしいきみのはじまりの日。」アメリカを代表するミュージシャン、ボブ・ディランの名曲『Forever Young』が希望あふれる絵本になりました。子どもを思うあたたかな名曲が、アーサー・ビナードの訳詩により、世代を超えて届けられます。読み聞かせにもおすすめの1冊です。

天皇皇后両陛下の平成のご足跡をたどる 宮内庁侍従職監修 / 『国民とともに歩まれた平成の30年』



毎日新聞出版

一般書

いつのときも国民のために祈り、寄り添われた天皇、皇后両陛下。その平成の御代のご足跡を、約300点の写真でたどり、ゆかりのお品なども紹介。ご成婚、皇太子・同妃両殿下としての日々、ご即位されてからもさまざまな人々に思いを寄せられ、被災地お見舞い、戦没者の慰霊など全身全霊でご公務に励まれた両陛下のご足跡です。

みんなが好きな甘いものを米粉で楽しむレシピ集 森崎 蘭香著 / 『米粉で作るうれしい和のおやつ』



立東舎

教養娯楽

みたらしだんご、どら焼、大福、あんこシフォン、そしてなんと、いきなりだんごまで登場。毎日食べたくなるやさしい和のおやつを自宅で楽しんでみませんか。初めての人でも挑戦しやすいように工夫した、米粉を使ったグルテンフリースイーツ57品のレシピを紹介。作業後の洗い物も生地がサラサラしているので楽チンです。

町生涯学習センター図書室のご利用について

■開館時間 午前9時～午後5時 ■休館日 毎週火曜日、年末年始 ■貸出冊数・期間 1人5冊まで、15日間

美しい満開の桜のなかに、小鳥や虫たちが描かれたすてきな表紙にひかれて本を開くと、1本の桜とそこに集まってくるたくさんの小さな命の1年間が描かれています。

春、桜の花の蜜をもらいに蜜蜂がやってきます。「はじめまして」。あたらしい出逢いのはじまり。夏、桜に小さな実がなり、たくさんの仲間たちが集まり、おおにぎわい。たくさんの「はじめまして」。

今月の案内人



松野 歩さん
(糸田区)

秋、色づいた葉は落ち葉となって、大地との「はじめまして」。

Read This Story!

～ My Favorite Story ～

私のおすすめ図書

『はじめまして』(近藤 薫美子著)

1本の桜の木を巡るさまざまな小さな命たちの「はじめまして」を、豊かに、高らかに書き上げたおおらかな絵本です。

冬、雪が降り始め、桜の冬芽にそっと「はじめまして」。そしてまた、春。季節はめぐっても、いつもいつもあたらしい。また「はじめまして」のはじまりです…。

新しいスタート、新しい生活を迎えるみなさんへ、あたたかなエールとなる物語です。読み聞かせにもおすすめですが、やわらかなタッチの絵には、虫たちの可愛い会話が細やかに描き

こまれているので、子どもと一緒にゆっくり楽しんでいただける絵本です。ぜひ、読んでみてください。

●あなたの「おすすめ図書」をご紹介しますませんか？

町生涯学習センター図書室

☎096-234-2447(内線331)

Public Hall

町公民館からのお知らせと話題

町公民館 第22回公民館大会

吹き出し訓練を通じた防災力向上活動」の活動事例を発表しました。

3月2日(土) 町生涯学習センターで、第22回町公民館大会を開催しました。

自主講座の3B体操で幕を開け、西寒野区の田浦末廣さんが「西寒野区自主防災活動」事例を発表。また、



▲県教育委員会社会教育課長の井芹護利さんが講演しました

その後、県教育委員会社会教育課長の井芹護利さんが、「これからの甲佐町の公民館活動について」と題して講演。公民館についての基礎知識や県内各地の公民館活動を紹介し、公民館のあり方を話されました。

町公民館主催講座

キッズプログラミング

3月3日(日)に町生涯学習センターで、「キッズプログラミング体験講座」を開催しました。

2020年から小学校で必修化されるプログラミング教育がどんなものか、また何ができるのかを親子で体験してもらいました。



▲プログラミングを親子で体験しました

講師の村上奈美さんの説明を聞き、実際にタブレットを使いながら、キャラクターをスタートからゴール

まで連れて行くゲームをプログラミング。どの道筋を行くかを決め、前進、左右の向き、ジャンプ、電気をつけるなどの支持を一つずつ工程を考えながらクリアします。村上さんは、「1つずつ工程を考えることこそ、プログラミング教育です」と話しました。

▶町公民館からのお知らせ

自主講座学習発表会を開催

●開催日時

4月20日(土)
午前9時30分～正午

●会場

町生涯学習センター

●発表内容

▶ステージ発表

フラダンス、社交ダンス、大正琴、朗読、ひまわりダンス、3B体操、オカリナ、レクリエーションダンス、相撲甚句、町民コーラス

▶ギャラリー展示

水彩画、書道、生け花、水墨画、パッチワーク、手編み教室

新しく何かにチャレンジしたいと思っている方、ぜひこの機会にご覧ください。

●公民館講座や町民大学などに関する

お申し込み・お問い合わせ先

町教育委員会公民館事務局

☎096-234-2447(内線321)

Human Rights

人権 ～心豊かに暮らすために～

■平成30年度甲佐町人権教育講演会を開催しました

2月23日(土)町生涯学習センターで、「平成30年度甲佐町人権教育講演会」を開催しました。

講師の熊本県南関町立南関第三小学校校長の森山資典さんが、「なかまをつくる部落に生まれて」と題して講演。町民、地域リーグ、企業や町職員など125人が参加しました。

はじめに森山さんは、「私ができることは、部落差別をはじめすべての差別やいじめをなくすこと。自分を語ることでより信頼し合えるなか

まになっていく」と話されました。



▲町生涯学習センターで開催された人権教育講演会

人権・部落問題学習で、まず熊本の就職差別事件について、次に先輩の結婚差別などの話をされました。

森山先生がまだ学生のと看、
ある先生から『先生が諦めたら、子ど

もも諦める』と言われ、教職に就いてからもこの言葉が根源にある」と語られました。参加者からも「この言葉が心に響きました」とたくさんの共感の声がありました。

森山さんは、「部落差別はなくすもの、なくなっても人権学習は続けていかなければ」と参加者に伝えました。

●人権に関するお問い合わせ先

町教育委員会社会教育課

☎096-234-2447(内線324)